

# 第30期 決算説明会

## テクマトリックス株式会社

<http://www.techmatrix.co.jp/>

2014年5月

<b>1. 第30期業績</b>	-----	<b>3</b>
<b>2. 第30期戦略進捗状況</b>	-----	<b>17</b>
<b>3. 第31期見通し</b>	-----	<b>22</b>
<b>4. 株価推移・株主還元策</b>	-----	<b>28</b>
<b>5. 市場状況（ご参考）</b>	-----	<b>29</b>

# 1.第30期業績

## 売上の状況

- 売上高： 17,353百万円
- 前年同期比：3.7%増



- アベノミクス効果により景気回復の兆しがあるものの、グローバル経済の不安定要素も多く、また日本経済の成長戦略も不明確なため、企業のIT投資の姿勢は依然慎重
- 過去最高の売上高

## 利益の状況

- 営業利益：1,118百万円（前年同期比6.4%減）  
売上高営業利益率：6.4%
- 経常利益：1,164百万円（前年同期比0.7%減）  
売上高経常利益率：6.7%
- 当期純利益：793百万円（前年同期比26.1%増）



- クラウドサービスなどのストック型ビジネスの戦略的拡大は順調に推移
- ビジネスモデル変更による減収減益を他事業の伸長で補い、ほぼ予定通りの着地
- 連結子会社5社全て黒字
- 繰延税金資産追加計上による法人税等調整により純利益増加

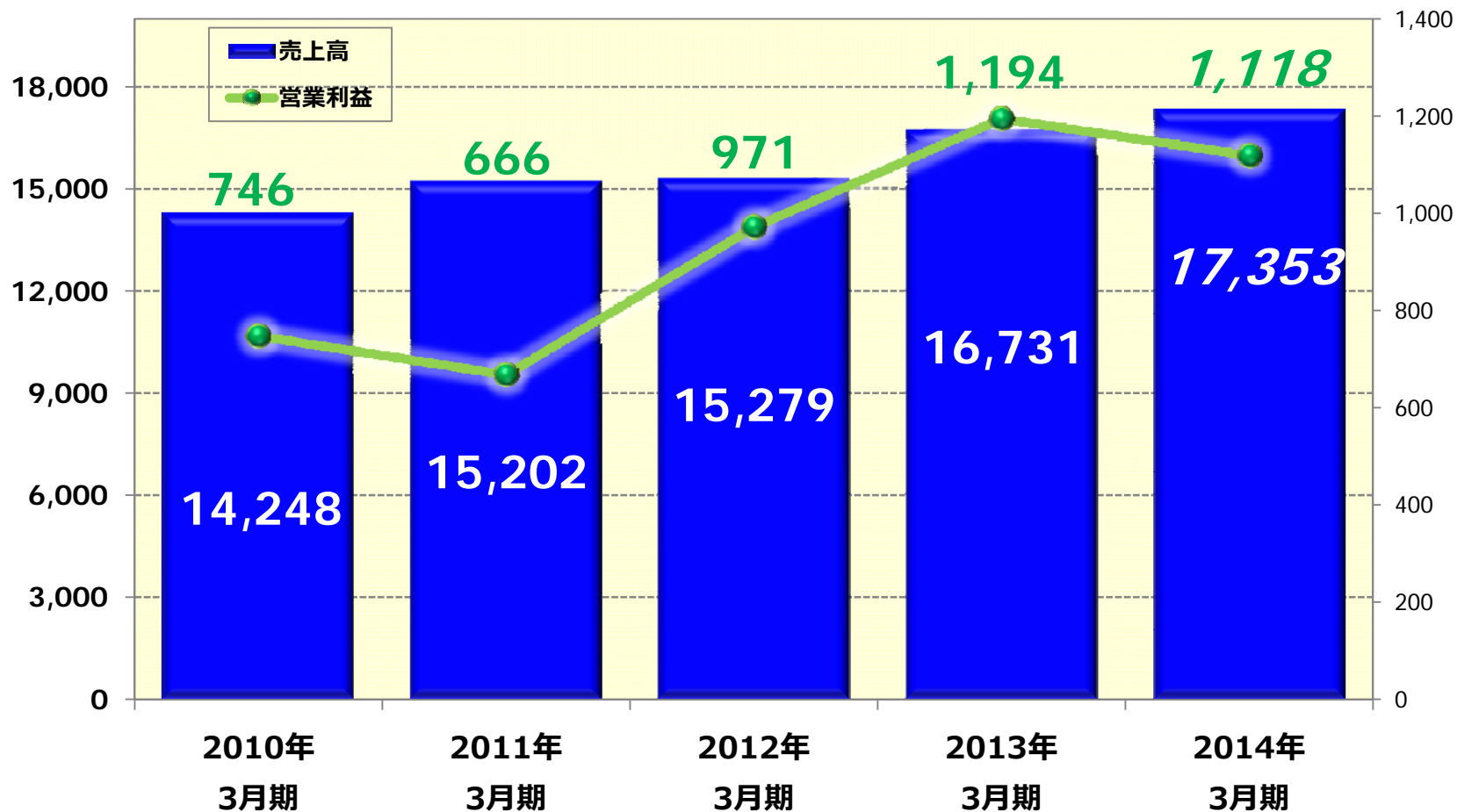
- 情報基盤事業の負荷分散装置は堅調。官公庁需要がやや低迷。サイバー攻撃対策製品は順調。
- CRM分野の成約が好調。過去最高の利益水準を達成。
- 医療情報クラウドサービス「NOBORI」の成約が好調で、計画値を超過。

# 第30期業績

業績の推移

(連結)

(単位：百万円)



# 第30期業績

四半期業績の推移

(連結)

(単位：百万円)

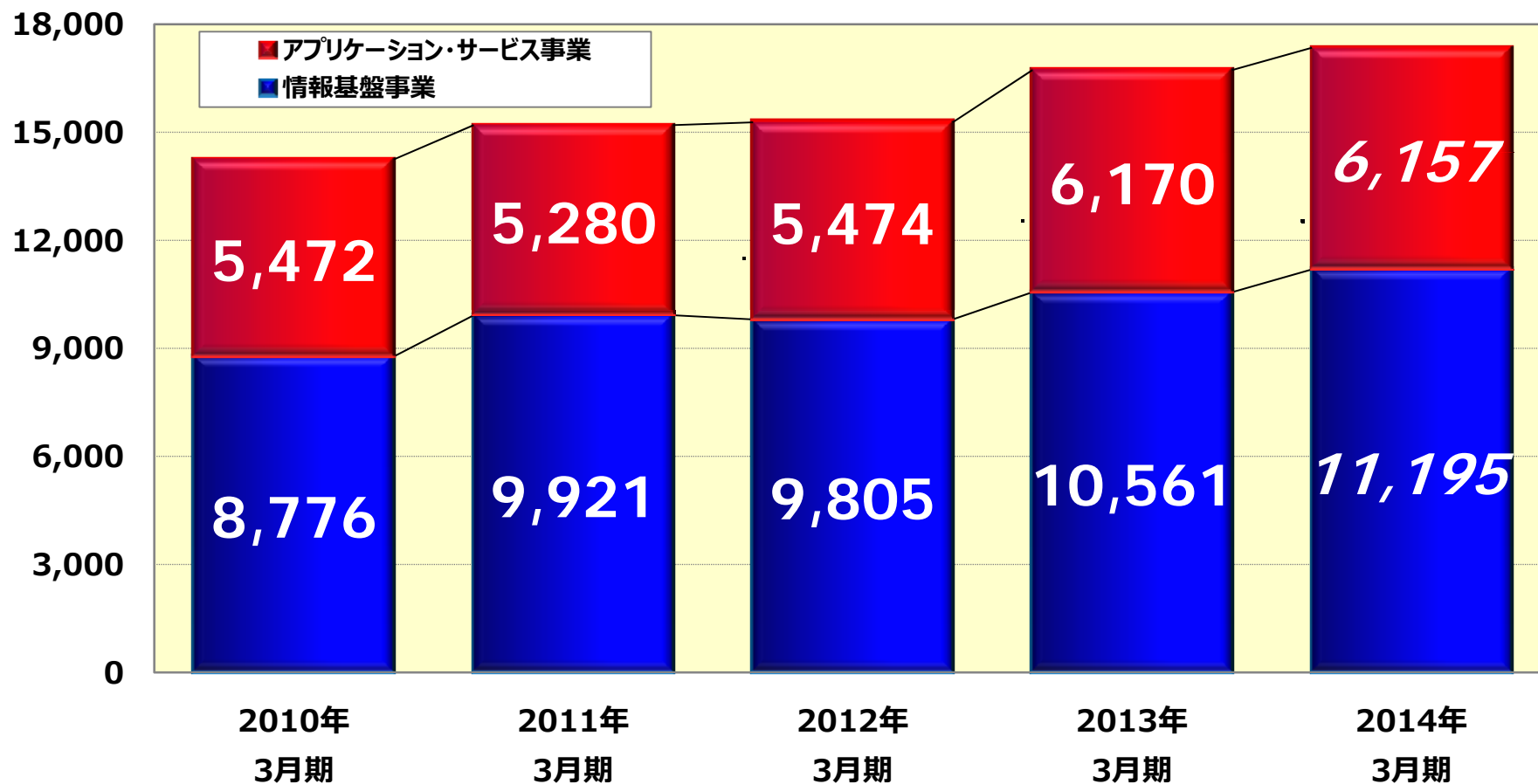
	2012年3月期 売上/営業利益	2013年3月期 売上/営業利益	2014年3月期 売上/営業利益
Q1	3,467/73	3,696/93	3,823/58
Q2	4,049/393	4,162/431	4,500/372
	7,517/466	7,859/525	8,323/430
Q3	3,394/96	4,252/346	3,864/179
Q4	4,368/408	4,620/322	5,165/507
通期	15,279/971	16,731/1,194	17,353/1,118

# 第30期業績

セグメント別売上

(連結)

(単位：百万円)



# 第30期業績

情報基盤事業

(連結)

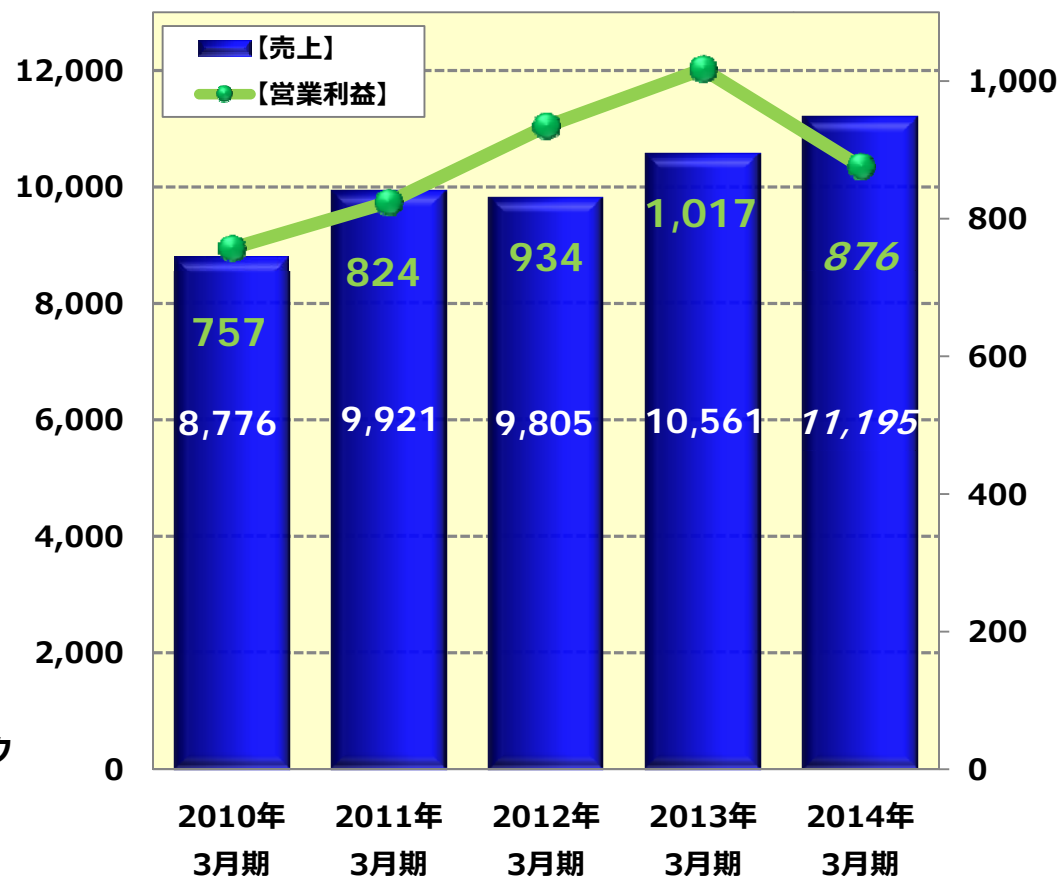
- 2014年3月期の概況 : 売上は11,195百万円 (前年同期比 6.0%増)  
: 営業利益は876百万円 (前年同期比 13.9%減)

## ■ 過去最高の売上高

【売上高・営業利益の推移】

### ハイライト

- 主力の負荷分散装置の販売は堅調
- サイバー攻撃の脅威の高まりにより、次世代ファイアウォール製品、スパム対策アプライアンス製品は順調
- 個人認証システム、Webサイト脆弱性監査ツール、統合ログ管理アプライアンス等は、対象市場の成熟度が進行したことや、製品の世代交代時期に差し掛かったこと等から、販売がやや停滞
- クロス・ヘッドは保守、運用・監視サービスの引き合いは堅調なもの技術要員の確保に苦戦
- 沖縄クロス・ヘッドは、地方公共団体向けIT基盤整備事業等の売上計上により売上高が増加、一方で利益率低下で損益面ではやや苦戦
- NCLCはネットワーク仮想化技術に対応した次世代ネットワーク機器製品の販売に注力。セキュリティ関連製品の販売も堅調





# 第30期業績

アプリケーション・サービス事業

(連結)

- 2014年3月期の概況 : 売上は6,157百万円 (前年同期比 0.2%減)  
: 営業利益は242百万円 (前年同期比 37.1%増)

## ハイライト

### ●インターネットサービス分野

- ・スマートフォン関連のシステム開発案件等、既存顧客を中心に好調
- ・金融機関向けリスク管理システム等、金融分野における受託開発案件の受注が前年度より大幅に回復
- ・カサレアルは教育事業及び既存顧客からの継続的な受託開発が好調

### ●ソフトウェア品質保証分野

- ・組み込みソフトウェアに関する品質向上、機能安全の必要性の浸透による需要の高まりは継続
- ・円高の是正、それに伴う製造業の復調を背景に、テストツールを中心に受注は堅調

### ●医療分野

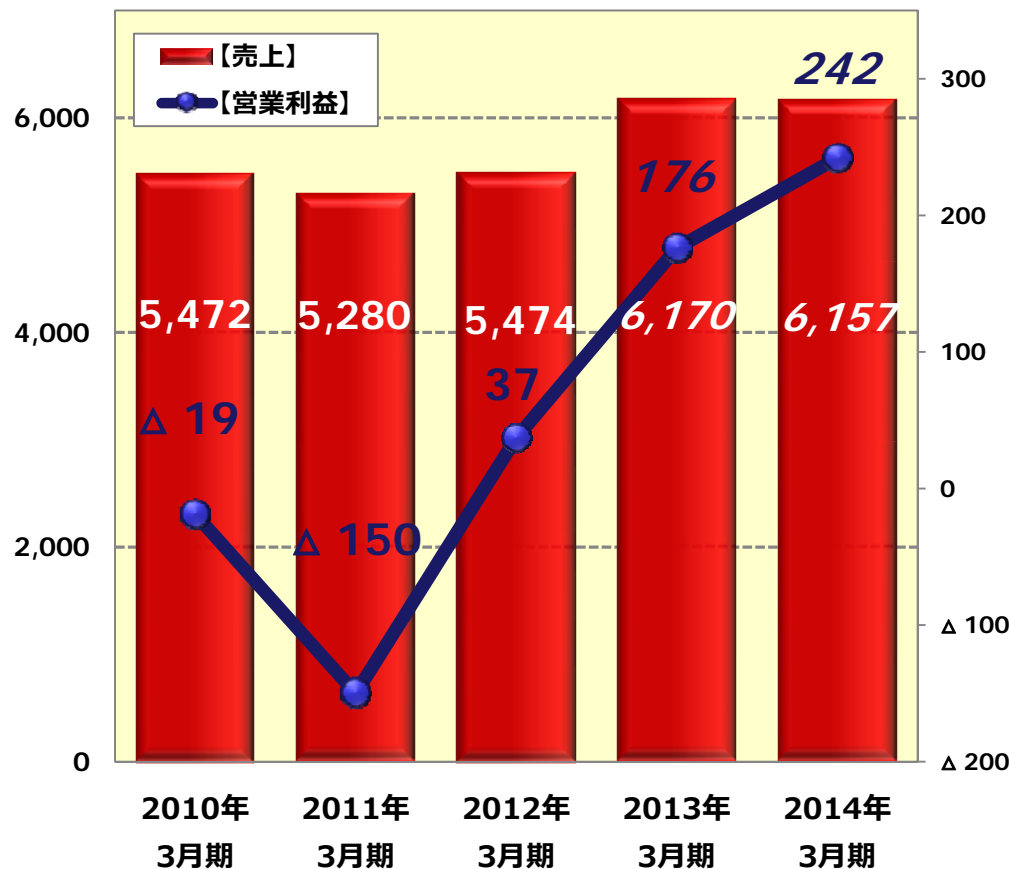
- ・医療情報クラウドサービス「NOBORI」の引き合いが好調  
受注実績は順調に拡大し目標値を超過達成  
一方で、契約期間に応じて案分して計上(経過処理)される売上は、短期的には減少(業績は概ね計画通りに推移)
- ・医知悟は検診施設などの顧客の取り込みが進み、契約施設数、読影依頼件数、従量課金金額共に順調に増加  
売上、利益ともに計画値を超過

### ●CRM分野

- ・大手システム・インテグレーターとの業務提携やクラウド需要の増加等による大型案件獲得も含め受注が好調。過去最高の利益水準

【売上高・営業利益の推移】

(単位: 百万円)










# 第30期業績

損益計算書(P/L)

(連結)

(単位：百万円)

決算年月		2013年3月期	2014年3月期	前期比 増減率
売上高		16,731	 17,353	3.7%
営業利益		1,194	 1,118	△6.4%
	利益率	7.1%	 6.4%	
経常利益		1,172	 1,164	△0.7%
	利益率	7.0%	 6.7%	
当期純利益		629	 793	26.1%
	利益率	3.8%	 4.6%	

# 第30期業績

## 貸借対照表(B/S)

(連結)

(単位：百万円)

	2013年3月期	2014年3月期		2013年3月期	2014年3月期
<b>流動資産</b>	<b>9,169</b>	<b>9,869</b>	<b>流動負債</b>	<b>5,540</b>	<b>6,033</b>
現金・預金	3,633	3,959	買掛金	885	1,135
受取手形・売掛金	3,077	3,378	短期借入金	350	350
その他流動資産	2,458	2,531	その他流動負債	4,305	4,547
<b>固定資産</b>	<b>3,042</b>	<b>3,301</b>	<b>固定負債</b>	<b>716</b>	<b>885</b>
有形固定資産	457	448	<b>負債合計</b>	<b>6,257</b>	<b>6,918</b>
のれん	590	649	株主資本	5,465	6,165
その他無形固定資産	759	756	その他の包括利益累計額合計	12	0
投資その他の資産	1,235	1,446	新株予約権	5	—
<b>資産合計</b>	<b>12,212</b>	<b>13,170</b>	少数株主持分	471	87
			<b>純資産合計</b>	<b>5,954</b>	<b>6,252</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>12,212</b>	<b>13,170</b>

# 第30期業績

## キャッシュ・フロー(C/F)【連結】

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期
I 営業活動による キャッシュ・フロー	1,311	775	1,247
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△307	△420	△976
III 財務活動による キャッシュ・フロー	△280	△346	△145
IV 現金及び現金同等物 の増加額	722	9	126
V 現金及び現金同等物 の期首残高	2,901	3,624	3,633
VI 現金及び現金同等物 の期末残高	3,624	3,633	3,759

# 第30期業績

2014年3月期(30期)の  
プレスリリース①

日付	リリースタイトル
5月	金融商品評価・分析ツール「FINCAD Analytics Suite2013」の販売開始のお知らせ
	BIソリューションの提供開始に関するお知らせ
6月	モーニングスター社の対談動画に当社代表取締役社長由利孝が出演
	大規模EC事業者向けバックオフィスシステム構築ソリューション「楽楽ECインテグレーションサービス」提供開始のお知らせ
	Anise Asia Cloudとのマレーシアにおける販売代理店契約締結についてのお知らせ
7月	エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社が、SDNネットワーク構築ソフトの無償提供を開始
	株主優待制度の一部変更に関するお知らせ

# 第30期業績

2014年3月期(30期)の  
プレスリリース②

日付	リリースタイトル
8月	産総研と共同で世界初のテスト設計技法の共同研究を開始
	株主優待制度の優待内容に関するお知らせ
9月	FastCloudが「第7回 ASP・SaaS・クラウドアワード2013」にて「海外展開賞」を受賞
	ビッグデータ分析支援サービスの提供開始に関するお知らせ
11月	日本最大級のコンタクトセンター関係者向けセミナー「テクマトリックスCRM FORUM 2014」開催のお知らせ（2月26日に開催し、1700名の来場者を記録）
	エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社が次世代ネットワーク機器ベンダーと国内総代理店契約を締結

# 第30期業績

2014年3月期(30期)の  
プレスリリース③

日付	リリースタイトル
1月	株式会社カサレアルのWebアプリケーション開発トレーニング用コースがApple社の最新バージョン「iOS7」に対応
	株式会社カサレアルが最新のJava EE 7に対応したトレーニングコースをリリース
2月	テクマトリックスと三井物産セキュアディレクションが協業し情報セキュリティの新サービス提供を開始
	沖縄クロス・ヘッド株式会社が台湾企業と事業協力で覚書締結
	NECが当社の販売するテストツールを採用
3月	テクマトリックスが日本コンピュータと販売パートナー契約を締結

# 第30期業績

2014年3月期(30期)の  
プレスリリース④

日付	リリースタイトル
3月	Lambda社とのマレーシアにおける販売代理店契約の締結について
	株式交換（簡易・略式）によるクロス・ヘッド株式会社の完全子会社化完了



## 2. 第30期戦略進捗状況

## テクマトリックスの戦略

### ①クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進

- SaaS (Software as a Service) の主体的運営
- クラウドを可能にする技術の発掘と提供

### ②「セキュリティ&セーフティの追求」

- ネットワーク・セキュリティ
- 機能安全、ソフトウェア品質保証



## クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進

### 【NOBORI】

- 契約施設数：年間100件（累計150件）
- 大型案件の増加、パートナー戦略強化により成約金額目標も達成。

### 【医知悟】

- 検診施設の顧客取り込みが進み、売上・利益とも計画値を超過。

### 【CRM】

- クラウド需要を取り込み、成約が好調。過去最高の利益水準。  
（契約件数は、前年同期比32.7%増。月額利用料は、前年同期比23.8%増。）

### 【インターネットサービス】

- 楽楽ECブリッジ関連、並びにEC開発関連で大型案件を受注。売上、利益とも計画値を超過。

## セキュリティ・セイフティの推進

### 【NWS】

- 大手企業や政府機関へのサイバー攻撃の脅威により、セキュリティ関連製品が堅調。

### 【ソフトウェア品質保証】

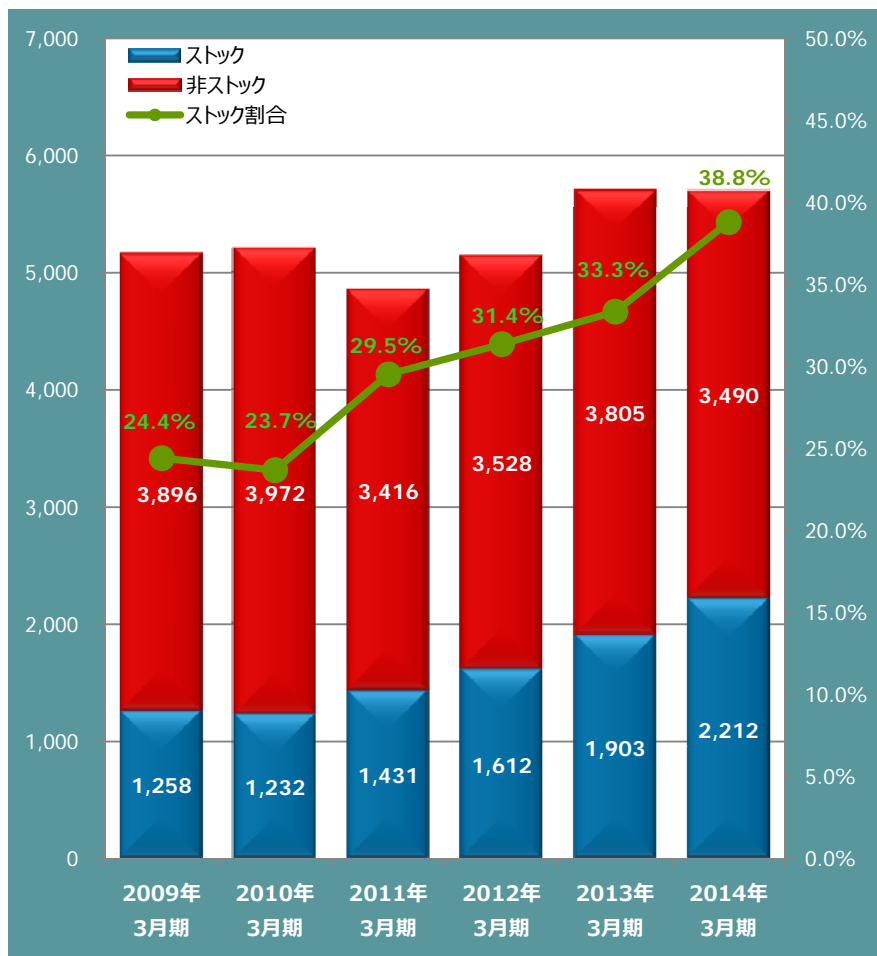
- 製造業を中心とした組込みソフトウェアの品質向上、機能安全への需要の高まり等で受注は堅調。システム障害・パフォーマンス劣化の原因特定を効率化する新製品の取扱い開始。

# 第30期戦略進捗状況

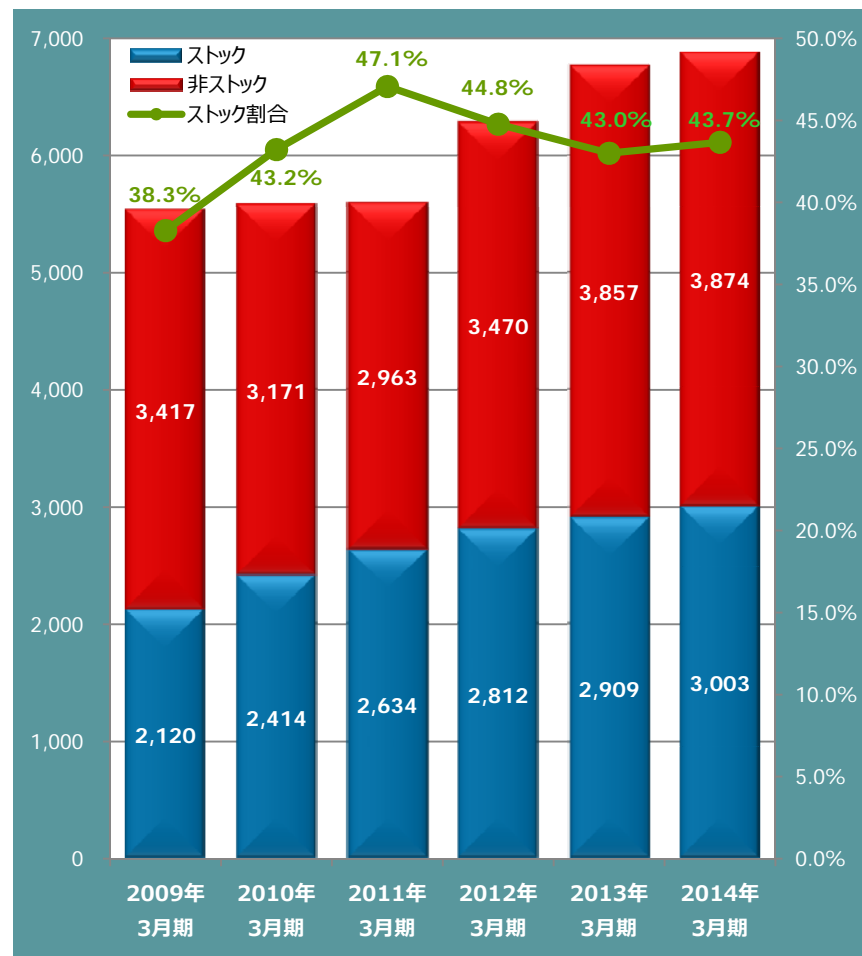
## ストック比率の進捗状況

(単体)

### アプリケーション・サービス事業 売上区分別比率

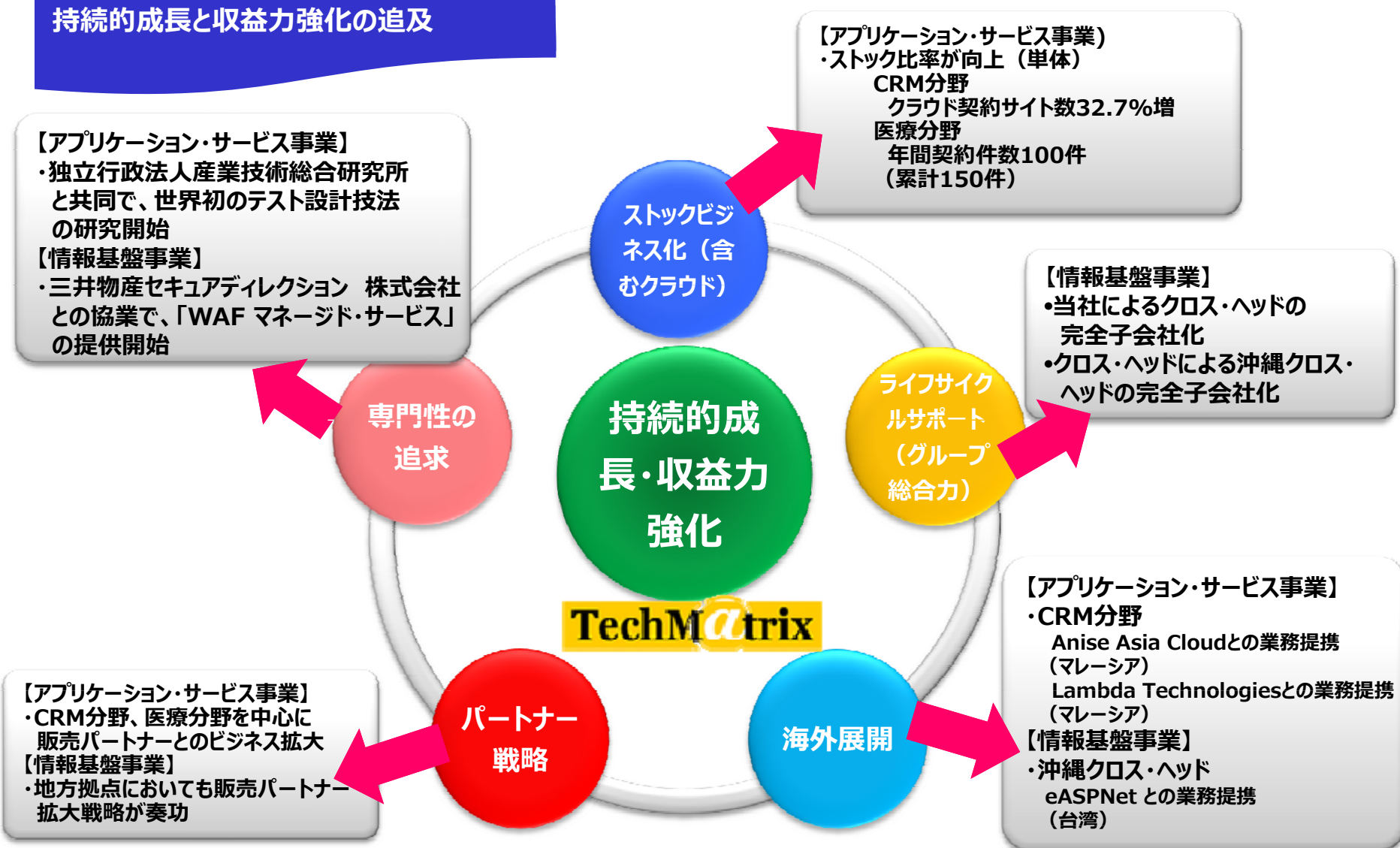


### 情報基盤事業 売上区分別比率



# 第30期戦略進捗状況

## 持続的成長と収益力強化の追及



# 3. 第31期見通し

3. 第31期見通し

情報基盤事業

アプリ・サービス事業



## 未来志向での選択と戦略的投資

### ネットワークセキュリティ

- サイバー攻撃の防御
- コンピュータ資源のユーティリティ化（クラウド）

+ 新製品・サービス

### 医療

- 医療情報の外部保存の解禁（クラウド化）
- ITによる医療サービスの充実と効率化（フロンティア）

+ 海外展開

### CRM

- クラウド（SaaS）分野における先頭ランナー
- 顧客ロイヤリティ向上による差別化

+ 海外実績

### インターネットサービス

- ネット販売流通総額の継続的拡大
- スマートフォンの普及による裾野の拡大

+ EC + BI

### ソフトウェア品質保証

- 機能安全規格の厳格化（コンプライアンス）
- 電子（ソフトウェア）制御の普及

+ コンサルティングサービスの拡充

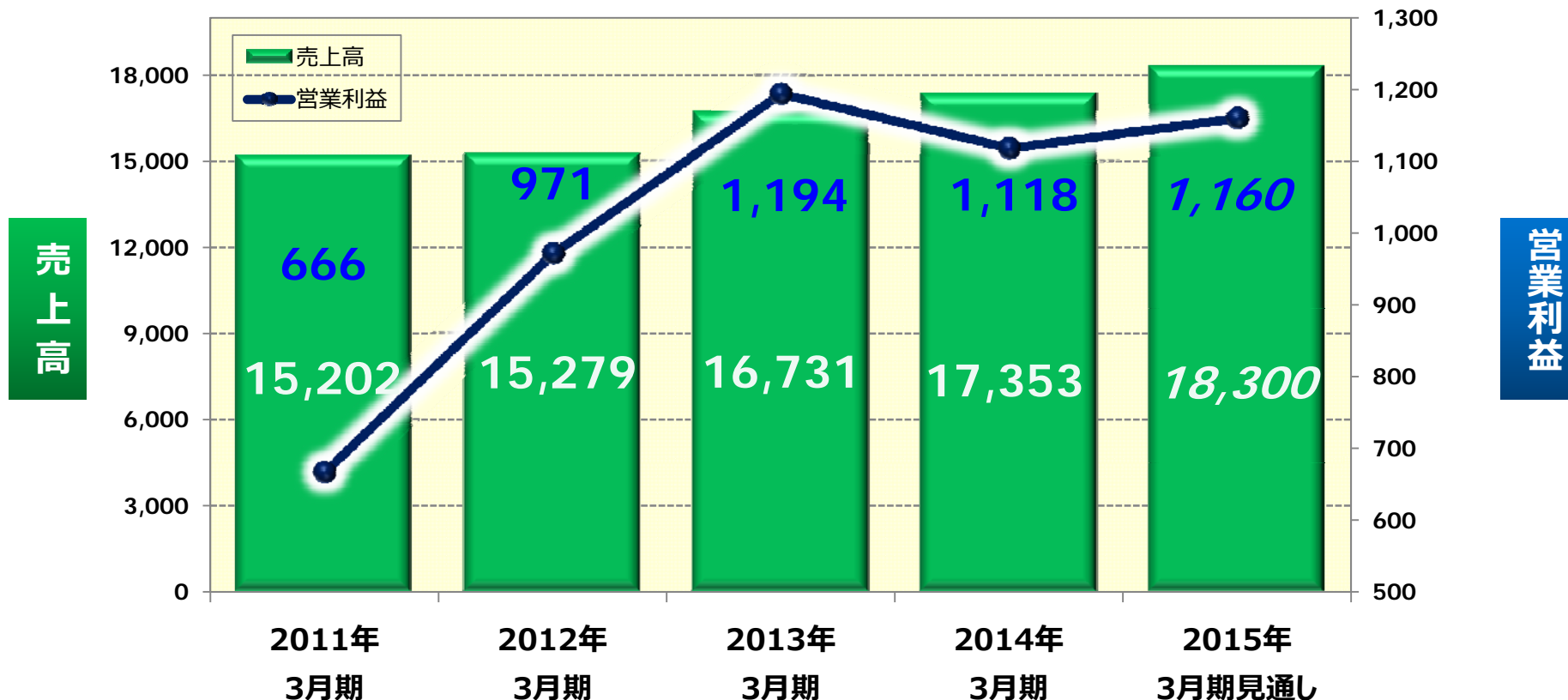


# 第31期見通し

通期業績の推移と見通し

(連結)

(単位：百万円)



# 第31期見通し

2015年3月期(31期)計画

(連結)

(単位：百万円)

		2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上		17,353	18,300	5.5%
営業利益		1,118	1,160	3.7%
	利益率	6.4%	6.3%	-
経常利益		1,164	1,160	△0.4%
	利益率	6.7%	6.3%	-
当期純利益		793	700	△11.7%
	利益率	4.6%	3.8%	-

\* 当社では、2014年3月期において税効果会計上の会社区分の見直しを行い、繰延税金資産を追加計上したことにより、平成26年3月期の当期純利益が期初予測から増加しました。これに対して2015年3月期の当期純利益予測には、このような特殊要因等の発生は見込んでおりません。

# 第31期見通し

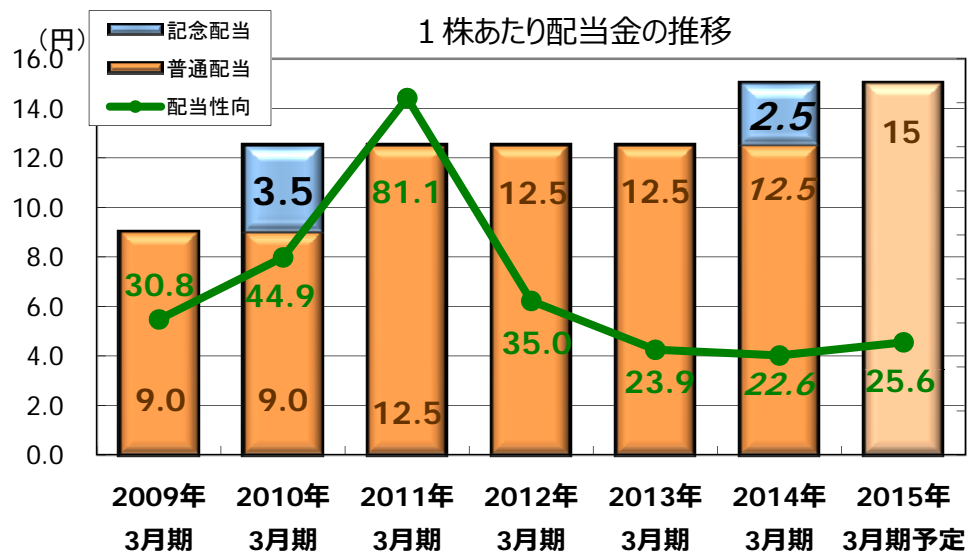
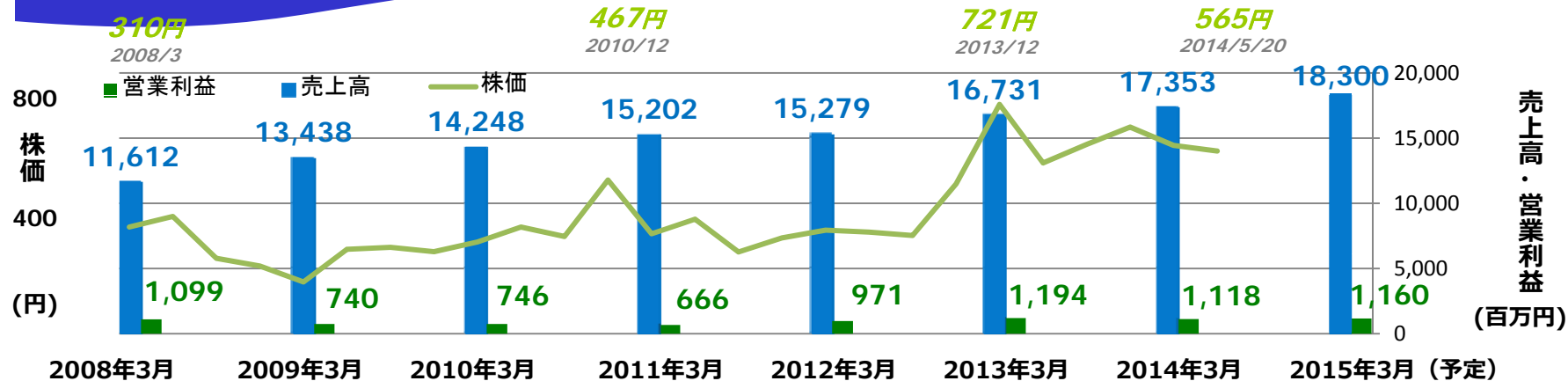
各セグメント別売上高見通し

(連結)

(単位：百万円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減率
情報基盤事業 ・ネットワーク/セキュリティ	11,195	12,200	9.0%
アプリケーション・サービス事業 ・インターネットサービス ・金融 ・ソフトウェア品質保証 ・医療 ・CRM	6,157	6,100	△0.9%
全社	17,353	18,300	5.5%

# 株価推移・株主還元策



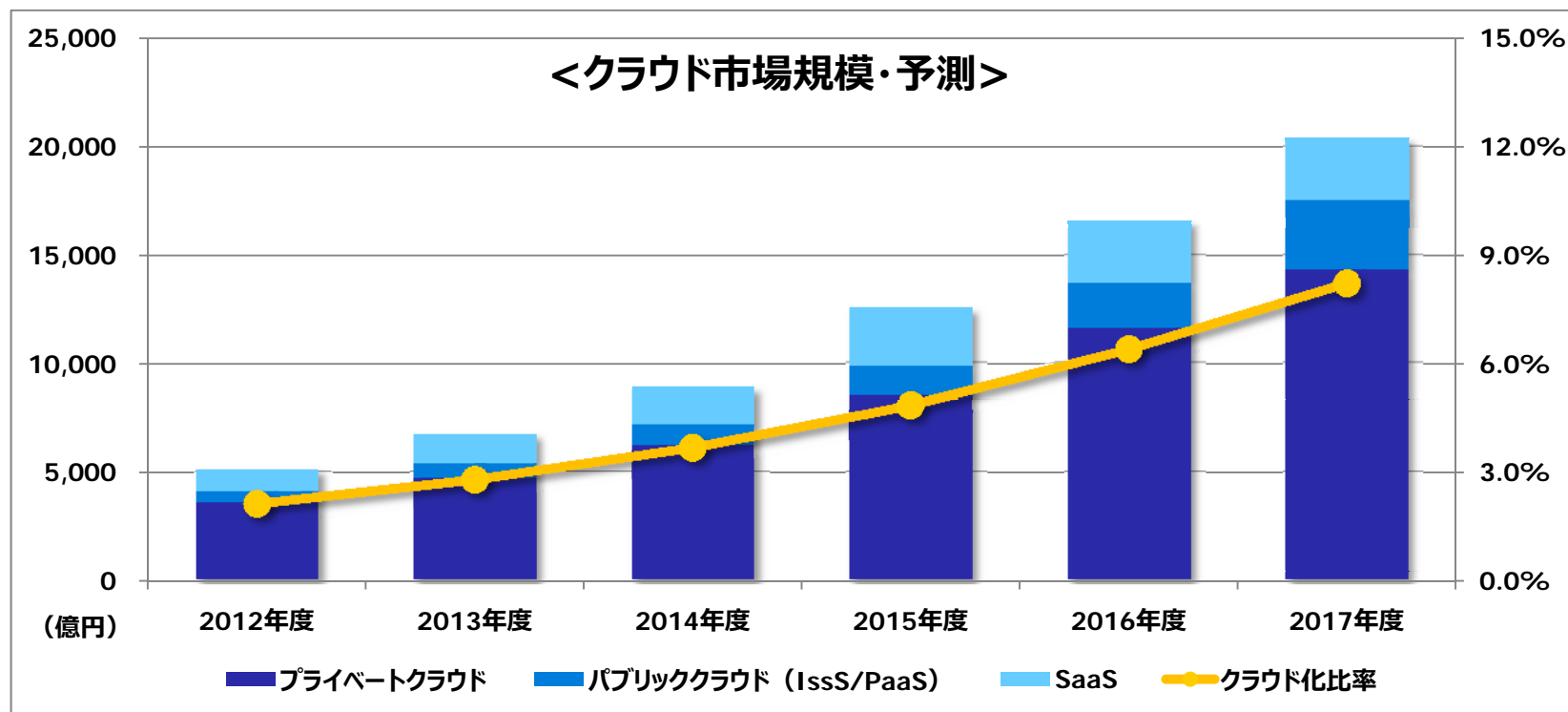
## 株主優待制度

- ＜対象＞  
9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上の当社株式を保有する株主の皆様
- ＜優待内容＞  
500株以上：1,000円相当の商品または寄付  
1,000株以上：3,000円相当の商品または寄付

\*平成25年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。そのため2008年3月に当該株式分割が行われたと仮定して、株価及び配当金を表示しております。  
2015年3月期の配当性向は、2015年3月期の業績予想と、2014年3月期の期中平均株式数で算出しております。

### 3. 市場状況（ご参考）

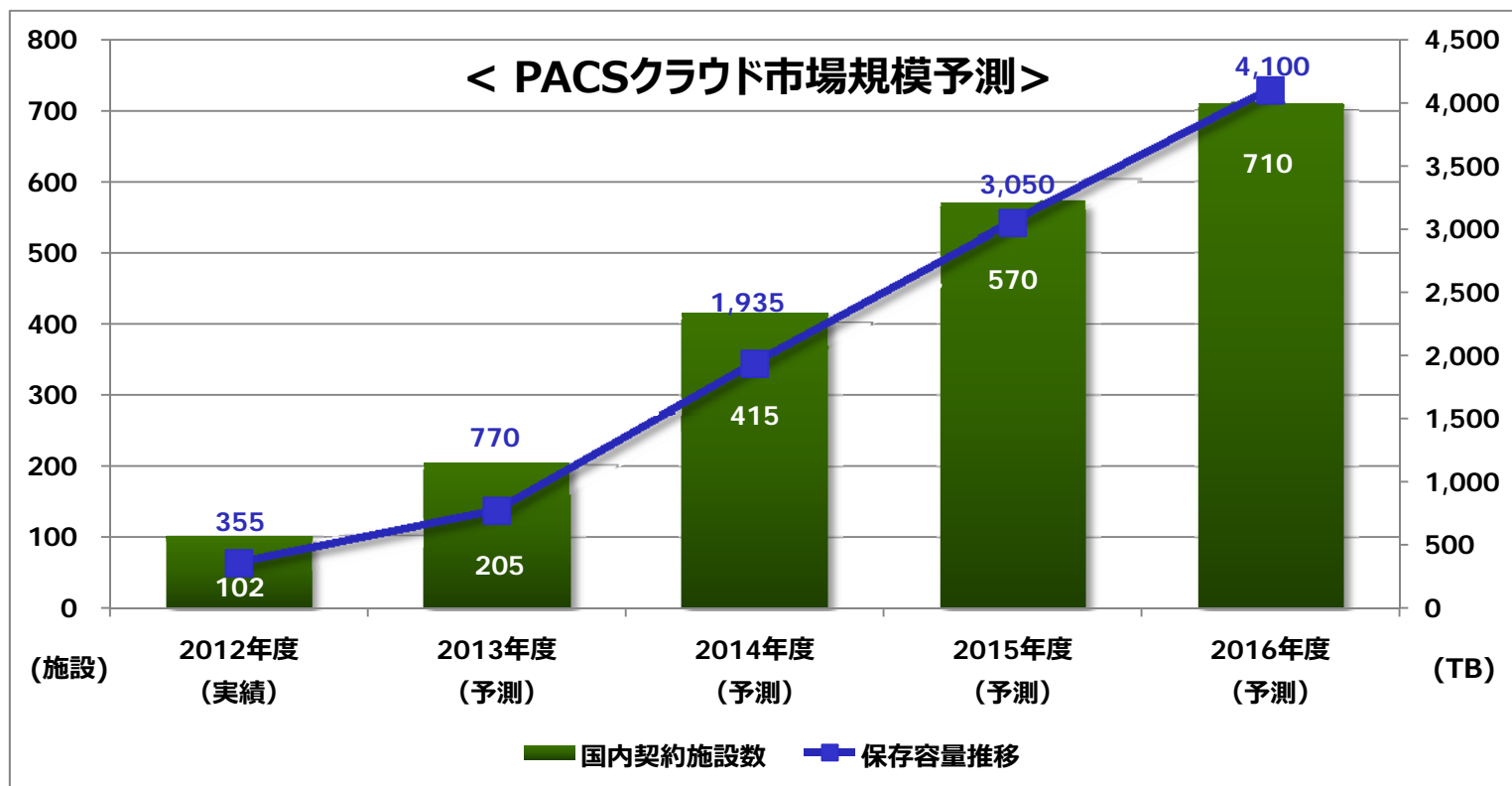
3. 市場状況（ご参考）



- ◆国内のICT投資総額は2012年度から2017年度まで年間約25兆円の横ばい予測の一方で、ICT投資総額に占める「クラウド化比率」は12年度の2.1%から、2017年度は8.2%に増加予想
- ◆国内クラウド市場は2017年度までの平均成長率32.0%と急速な成長を予測  
2015年度に1兆2,558億円、2017年度に2兆411億円に達する

\* MM総研「国内クラウドサービス需要動向」(2013年8月30日)より作成

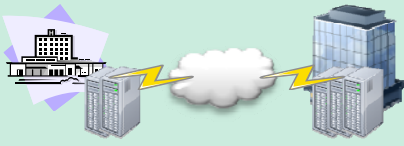


## 医用画像システム(PACS)におけるクラウドモデルの進捗



- ◆2012年度末時点でのクラウドの国内契約施設数は102。2014年度から本格的普及を予測。
- ◆テクマトリックスの導入施設数：2012年度末実績50施設で先行。2013年度実績は150施設。

\* 矢野経済研究所「2013年版医用画像システム (PACS) ・関連機器市場の展望と戦略」(2013年11月15日発行)より。

## 医用画像システム(PACS)におけるクラウドモデルの分類

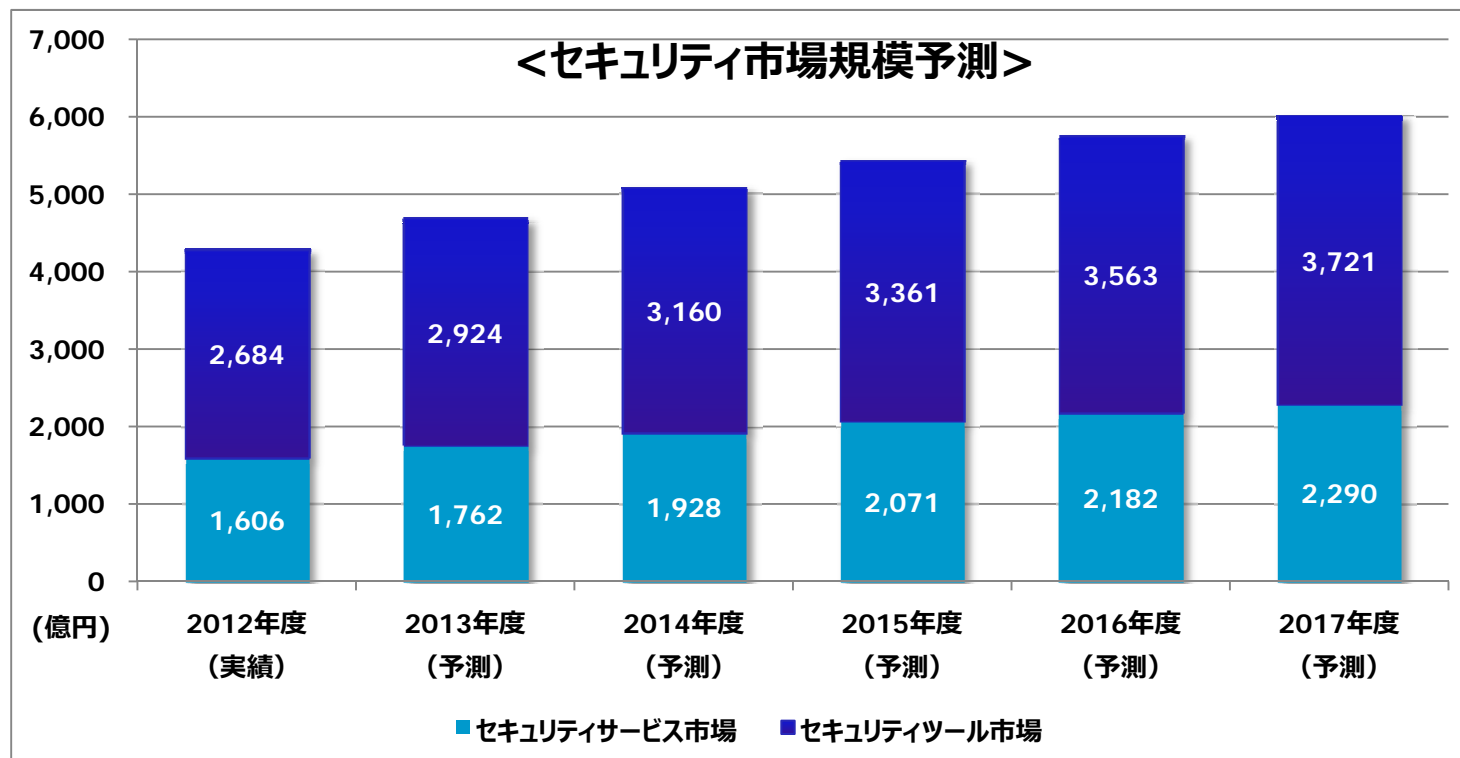
外部保存型クラウドの分類	形態	特徴	構成イメージ	NOBORI
TYPE 1	短期/長期とも院内サーバ + 外部保存（全データを院内と外部データセンターに2重保存）	院外でのデータバックアップ機能の追加。 既存システムに追加のコストが発生。		—
TYPE 2	短期は院内サーバ + 長期は外部保存	比較的使用頻度の高いデータを院内保存。既存システムに追加のコストが発生。		—
TYPE 3	院内サーバ設置なし + 外部保存型（院内はキャッシュのみなど）	導入コスト + 院内サーバ不要なため、低価格で。大規模施設に加え、小規模施設で急速に普及する可能性。		◎

◆テクマトリックスは、TYPE 3 に当たる医療情報クラウドサービス「NOBORI」を提供。

\* 矢野経済研究所「2013年版医用画像システム（PACS）・関連機器市場の展望と戦略」（2013年11月15日発行）より作成。



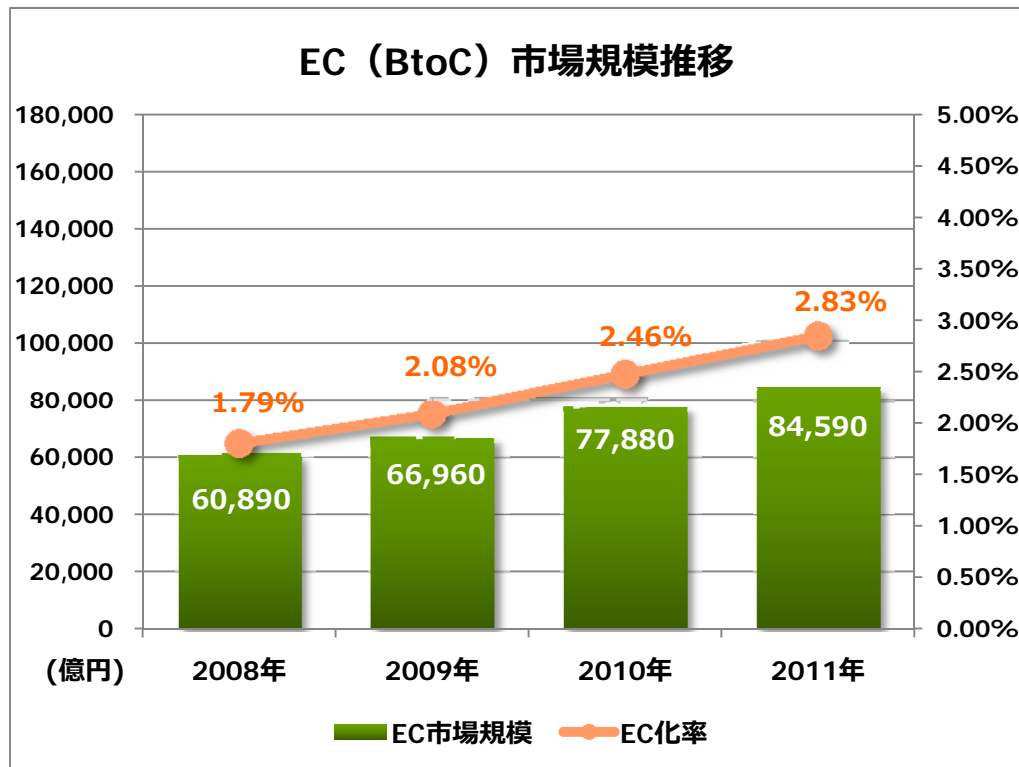
## ネットワークセキュリティ市場



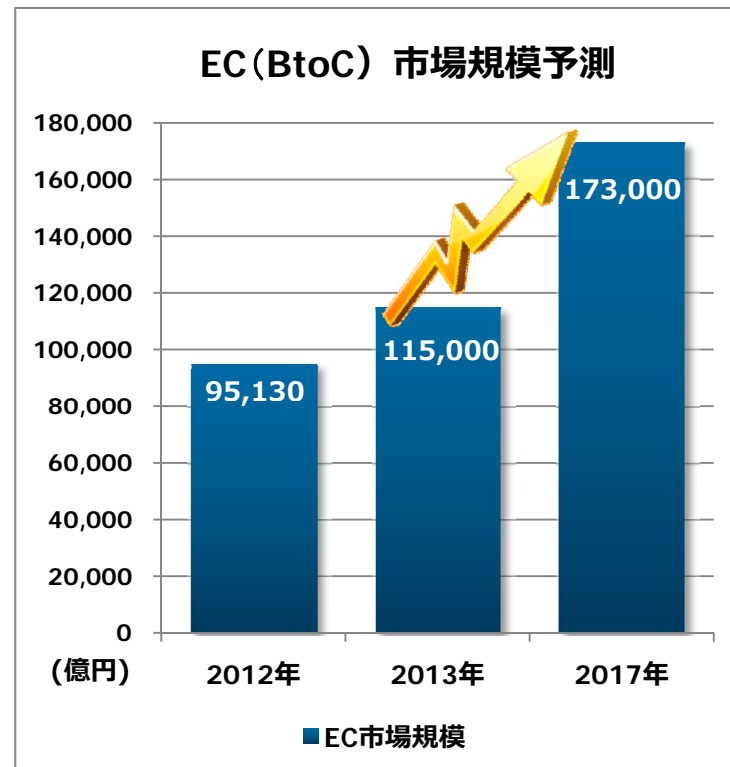
- ◆ 国内のネットワークセキュリティ市場は、2012年度の4,289億円から、2017年度は6,011億円に拡大の予測。
- ◆ 平均成長率は7%の高い成長率を予測。

\* 富士キメラ総研「2013ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」より作成。

## EC (BtoC) 市場規模推移



(経済産業省)

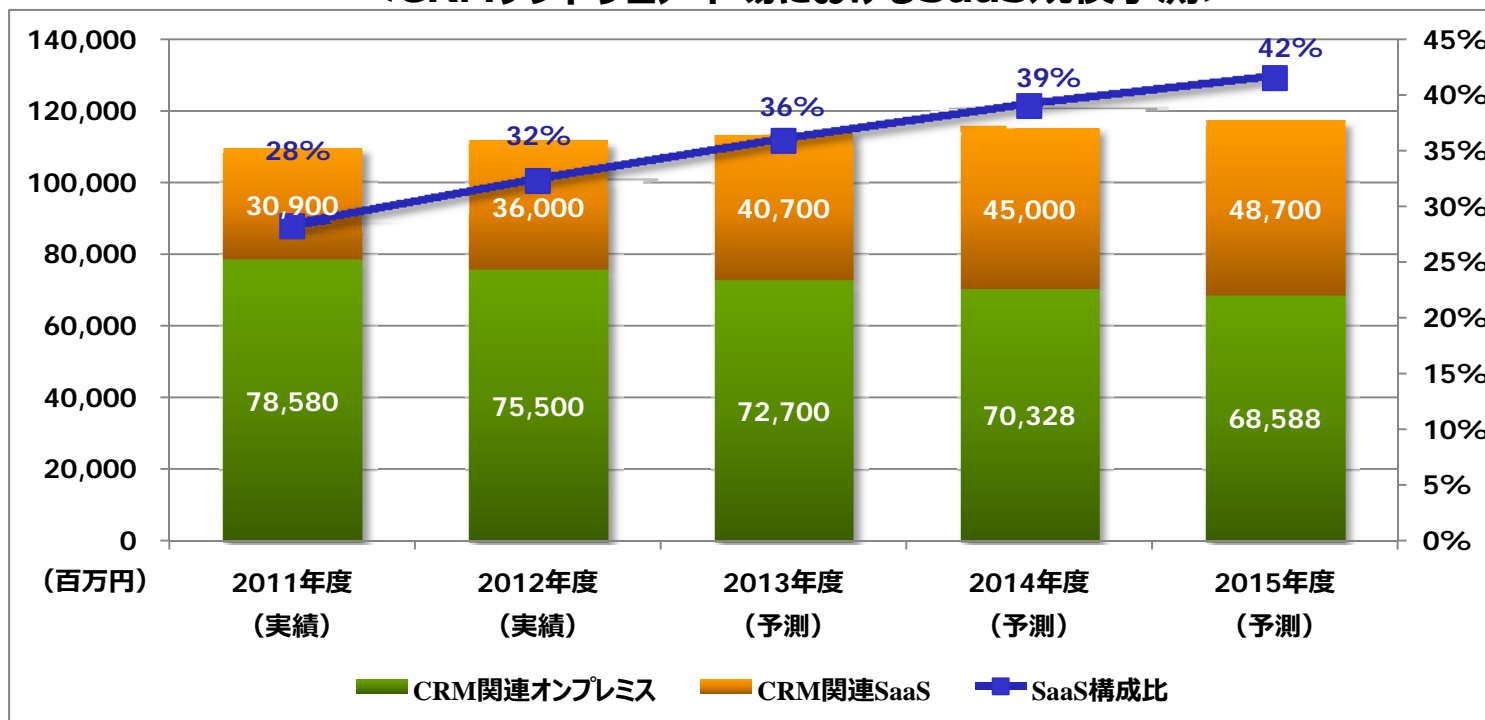


(2012年：経済産業省、2013年～：野村総合研究所)

- ◆ 2011年の市場規模は対前年比率は8.6%増。2012年では12.5%増
- ◆ 2013年以降の平均成長率は11.1%と予測 (野村総合研究所)

\* 経済産業省「電子商取引に関する市場調査」、野村総合研究所「2017年度までのIT主要市場の規模とトレンドを展望」より作成

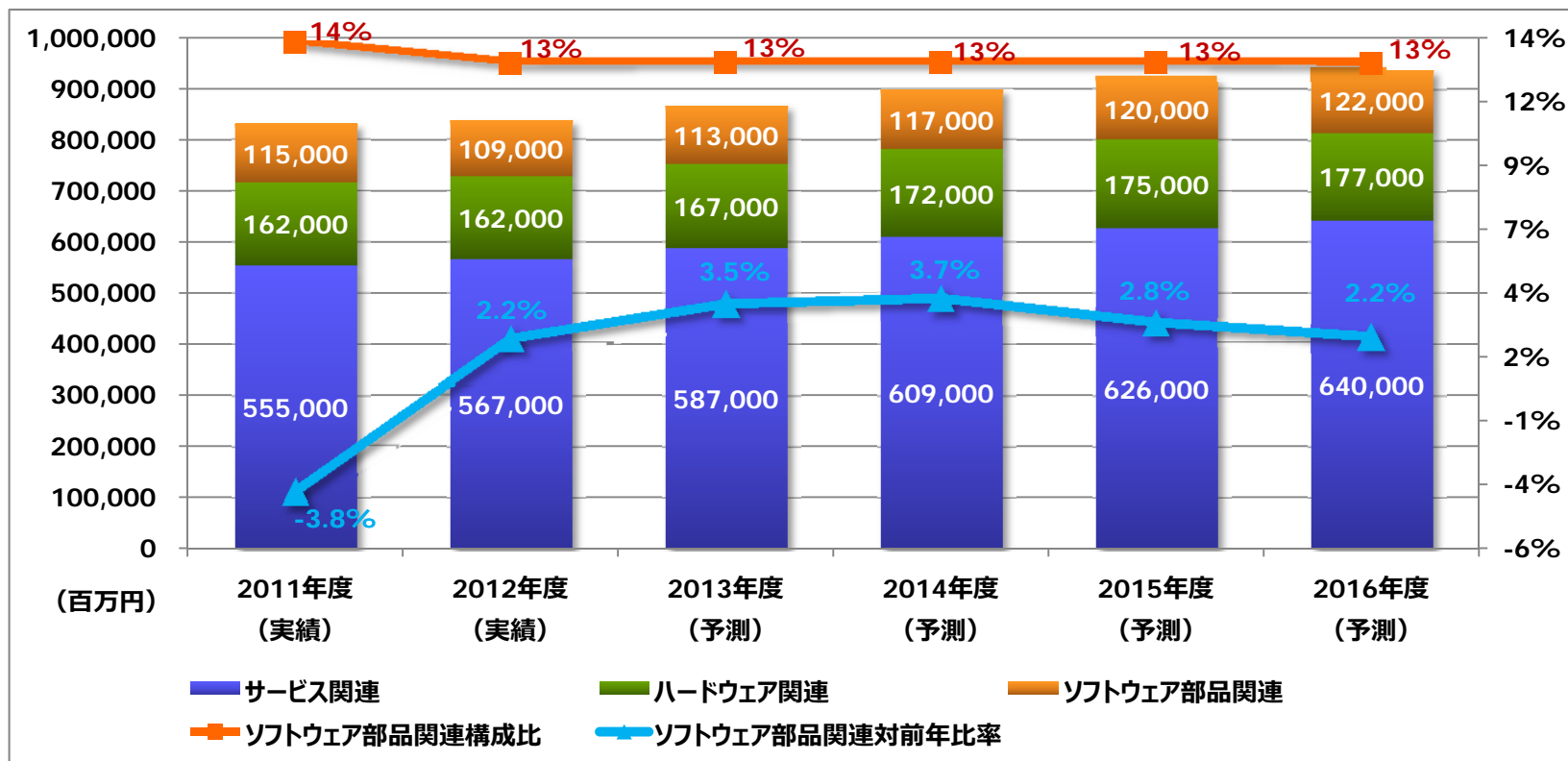
### <CRMソフトウェア市場におけるSaaS規模予測>



- ◆ CRM市場規模全体では2012年度で6,534億円、2015年度には6,862億円と、年率1.6%の成長率。
- ◆ CRM全体規模に対して、ソフトウェア関連は、2012年度で1,115億円。2012年度（1.8%増）、2013年度（1.7%増）と全体伸び率と同様の成長率。2015年度のソフトウェア関連は、1,172億円の予測。
- ◆ SaaSのみでは、2012年度360億円が2015年度には487億円となり、年率10.6%の成長率と全体の成長を牽引。
- ◆ ソフトウェア市場に対するSaaS構成比も2012年度の32%から2015年度の42%まで成長する予測。

\* ミック経済研究所「CRMにおけるIT関連市場についての動向調査結果」（2013年5月27日）より作成。  
 \* 2014年度、2015年度のオンプレミス規模は対前年比率から当社が算定。

## 組込みシステム市場



- ◆エンベデッドシステム・ソリューション市場全体は2014年度以降、年率2%強の緩やかな伸びが続く見通し。
- ◆2013年度は、前年度比3.5%増の8,670億円となり、リーマンショック後の不況とスマートフォンへの急速なシフトで低迷していたエンベデッドシステム市場が、ようやく堅調なプラス成長になると予測。

\*ミック経済研究所「エンベデッドシステム・ソリューション市場の現状と展望 2013年度版」(2013年5月16日)より作成。

ご清聴頂きまして  
誠にありがとうございました。

＜お問合せ先＞

テクマトリックス株式会社企画経理部 経営企画チーム  
TEL:03-5792-8601 ir@techmatrix.co.jp

＜本資料の取り扱いについて＞

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。  
従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや確実性がありますことを、予めご了承ください。